

# かねがさき 2021年 第246号 社福だより

令和3年1月21日発行

主な内容

- P1 はっぴいふれいすかねがさき & 親と子のつどい 新年を迎えて
- P2 トピックス 1. 2. 3. 4
- P3 輝き人
- P3 事業所紹介
- P4 寄付の報告
- P4 生活福祉資金

## はっぴいふれいすかねがさき & 親と子のつどい



12月23日(水)、中央生涯教育センターを会場に、第13回はっぴいふれいすかねがさきと親と子のつどいを合同で開催しました。

当日は、農林水産省の食育等推進事業の一環でいただいた食材で作ったクリスマス弁当とクリスマスケーキをテイクアウト方式で配布し、子ども達には“ハズレ”無しのくじ引きを行いました。当たった景品を受け取り、とても嬉しそうな子ども達でした。

### 新年を迎えて



金ヶ崎町社会福祉協議会  
会長 高橋 範夫

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染予防のため、当社協でも一部地域福祉活動、諸事業を縮小、延期或いは中止しせざるを得ない事となり、社協の役割を十分に発揮できず残念な年でもありました。加えて、12月中旬から大雪に見舞われ、被害に遭われた方々には心からお見舞いを申し上げます。当社協といたしましても、重点事項のひとつとして引き続きスノーバスターズの方々と一緒になって、高齢者宅の除雪、安否確認、声掛け活動を行って参ります。

それにつけても町民の皆さんには、いつもと変わらないご寄付、物資の提供、そしてボランティアへの参加等、多面的にご支援とご協力を頂き改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、本年は未だ新型コロナウイルスの収束が見通せない状況下ではありますが、新型コロナウイルスの感染予防に万全を期すと共に、新たに地域福祉活動計画(R3～R7)を3月末までに策定します。新年度からは本計画に基づき、相談体制・生活支援の充実、そして生きがいづくり、介護予防等々、丑年にあやかっ、しっかりとした足取りで推進し、皆様のご期待に応えられるよう役員員一丸となってサービス・事業を展開して参りたいと思っております。

結びに、皆様のご健勝と相変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶とします。

# 1 看護師 3 名が人命救助

トピックス

昨年 11 月 8 日に森山総合公園陸上競技場で開催された「第 2 回森山くまさんリレーマラソン大会」で、ゴール直後に倒れた 50 代男性に対し迅速な救命措置を行い命を救ったとして、当会デイサービス勤務（通所介護事業所）の看護師畠山暢子さん、町内の看護師小原千春さん、藤沢直子さんの 3 名が奥州金ヶ崎消防本部から表彰を受けました。

3 名は心肺停止状態の 50 代男性に、救急車が到着するまで交代で心臓マッサージなどの心肺蘇生法を行い男性の命をつなぎました。

及川消防長は「救命の知識はあっても現場ではなかなか行動に移せないことが多い。行動した勇気が一人の命を救った。」と、3 人の勇気に感謝を述べました。



胆江日日新聞社提供

# 2 東北電力ネットワーク(株)水沢電力センター 自社防災備蓄用食品寄贈式

トピックス

1 月 7 日、福祉センターにて東北電力ネットワーク(株)水沢電力センター様から当会に防災備蓄用食品の寄贈をいただきました。

新型コロナウイルスにより地域のイベントの多くが中止となる中、何らかの形で役に立てればとの思いから寄贈いただいた、カレーライスや中華丼など 3 種類 190 食分の食品は、生活困窮者たすけあい事業の一環として配布させていただきます。



# 3 歳末たすけあい運動義援金配分式

トピックス

昨年 12 月 24 日（木）中央生涯教育センター多目的ホールを会場に令和 2 年度歳末たすけあい運動義援金配分式を開催し、対象世帯の調査にご協力いただいた民生委員約 30 名のみなさまに義援金の授与を行いました。

皆様から寄せられた義援金は、今年度新たに配分対象としたコロナウイルスによる収入減世帯をはじめ約 300 世帯へ各地区の民生委員を通じて、お届けいたしました。



代表受領する高橋太市民生委員児童委員協議会長

# 4 100 歳記念長寿祝品贈呈式

トピックス

岩野フシヨさん（西根真析）は昨年 12 月 2 日に 100 歳を迎えられました。

毎日 3 食欠かさず食べ、日中は趣味の編み物をしたり大豆の選別をしたりして過ごす手先が器用なフシヨさん。手作りの豆腐は家族にも大好評とのこと。

フシヨさんは「こうしていられるのは家族と一緒にいてくれるから。いつもありがとうございます」と笑顔で感謝を伝えられました。





## シリーズ12 三ヶ尻地域活性化委員会

## ～こどもたちに地域の思い出を～

三ヶ尻地域活性化委員会は、町の地域活性化補助事業として三ヶ尻地域の有志で立ち上げ、子どもたちに自分の育った地域の思い出を残して欲しいという思いと、東日本大震災の復興への願いから活動を行い、今年度で10年の節目を迎えました。

地域の方々の意見を反映させた取り組みとするために、第一回に際して地域住民アンケートを実施し、「凧あげ大会」と「B級グルメ大会」を開催するに至ったとのこと。

両大会ともに毎年試行錯誤を重ね、凧あげに適していることや3世代が一堂に会し行事を楽しめることから、現在の三ヶ尻地区センターでの併催となり、最多で330人が集まることもあったと言います。東北各県から凧あげの関連団体の参加もあるなど、県内で最も大きな規模となった三ヶ尻地区凧あげ大会は、金ヶ崎の



初冬の風物詩として定着してきました。

第6回から活性化委員になった伊丹純子さんは、「第一回には参加者として親子で凧あげを楽しみました。当時小学生だった息子が、昨年度は運営のボランティアとして大会の事前準備に参加させていただきました。子どもの頃の経験や思い出が現在に生きているのだと思います。」と言い、笑顔を浮かべます。

同委員会では、10年を区切りとし来年度以降の両大会の開催は予定していませんが、凧あげを通じた地域の小学生との交流などは継続するとのこと。委員長の菊地敏弘さんは「今年度の大会も大盛況に終えることができた。これまでの取り組みを今後も絶やさず、新たな行事の開催等も考えながら活性化に取り組みたい。」と展望を語りました。



金ヶ崎町社会福祉協議会では様々な事業や施設の運営・管理を行っております。このシリーズでは、その中から人気の事業や施設をご紹介します。

社協  
事業紹介

## シリーズ3

## さくらの会

東日本大震災復興支援の一環として、金ヶ崎町内をはじめ金ヶ崎町周辺の避難世帯の方々に交流機会の提供を行う事業です。

年に10回程度活動を行っており、福祉センターでのニュースポーツ大会や町外の観光などを楽しみながらお互いの親睦を深めていただいています。

震災から10年が経過し会員の年齢も上がってきてはいますが、毎回活気にあふれた活動を楽しんでいます。



## 訪問理美容サービス

町内に住む外出が困難な高齢者や障がい者の方々が、健康で安心して日常生活を送ることができるよう、ご自宅を訪問し理美容サービスを提供する事業です。

サービスは1回につき1,000円で、ボランティア登録をした理容・美容師さんがそれぞれのお宅を訪問いたします。利用者の方々からは、「家にいながら髪を切ることができて大変助かっています。」と感想をいただいています。 \* 理美容ボランティアさん募集中です \*



# 寄付の報告

令和2年11月20日から令和3年1月6日まで



## ○福祉基金

及川進一さま 50,000円  
 菅原恵一さま 50,000円  
 匿名希望さま 50,000円  
 後藤幸夫さま 30,000円  
 佐藤剛さま 20,000円  
 高橋亮さま 30,000円

## ○物品寄付

高橋力子さま \*社協へ  
 紙オムツ3袋 尿パット1.5袋  
 小関ノブさま \*社協へ 衣類  
 三菱製紙(株)北上事業所さま  
 \*社協へ  
 点字カレンダー100冊

## ♥はっぴいふれいすへ

匿名希望さま 3,000円



## 生活福祉資金

## 教育支援資金貸付のご案内

生活福祉資金の教育支援資金は、所得の低い世帯に対し、学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、大学の入学・就学に必要な経費を貸付するものです。

### ●教育支援資金の種類と貸付額

	資金種類	貸付限度額	据置期間	返済期間	貸付利子
教育支援資金	教育支援費 授業料、家賃 定期代等	高校 月額 3.5万円以内 高専 月額 6.0万円以内 短大 月額 6.0万円以内 大学 月額 6.5万円以内	卒業後 6カ月 以内	据置期間後 20年 以内	無利子
	就学支度費 入学金、制服 教科書等購入費	50万円以内			

### 【注意事項】

- 日本学生支援機構や母子寡婦福祉資金など他制度の活用が優先となります。
- ご利用に際しては就学者が借受人となり、世帯の生計中心者または就学者の親権者が連帯借受人として加わる必要があります。連帯借受人がいない場合等は、連帯保証人が必要です。
- 申込から貸付、返済終了まで民生委員及び社会福祉協議会の関係者が世帯の相談支援を行います。
- 合格発表前でも、入学願書・受験票の写しや納入期限が確認できる書類を添付して申込書の提出ができます。
- 世帯の状況に応じて、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関等の支援を利用いただくことがあります。

※詳しい内容については、お気軽にご相談下さい。(総務企画・地域福祉課 44-6060)

## 社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ヶ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL: 0197-44-6060 FAX: 0197-44-6106

EX-ル: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kin-syakyō.jp>



★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

